GEKIMIN
元気な民商ニュース

NO，450
発行:北区民主商工会
住所:北区豊島2-13-7
電話 3913−6632
FAX 3913−6741

商工新聞の読みどころ ▼地位経済に大きな波及効果…1面 ▼賠償は東電の責任で…2面 ▼異議あり…2面 ▼飯田の夜オリ…3面 ▼歴史に学び飛躍を決意…4面 ▼被災地に花贈る…5面▼相談コーナー…6面▼視点…7面▼街を再生するのは中小業者…8面▼随想…8面

ホームページ http://www3.kitanet.ne.jp/~kitamins/index.html　Eメール kitamins@ma.kitanet.ne.jp

あきらめないでよかった

東日本大震災以降の急激な売り上げ減から、当面の運転資金を融資で乗り切りたいとの、会員の相談が相次いでいます。この間3人の方が不況対策の5号認定を受け、北区の制度融資を申し込み、経営悪化など困難な状況をあきらめずに交渉し、融資を実現しました。

高齢であきらめていた新車購入の夢が
融資で実現

桐ヶ丘支部のKさん（個人タクシー）は現在乗っている営業車の耐用年数が限界に来ていることから、車の買い替えを考えていました。はじめに金融公庫に相談しましたが、年齢（68歳）の事や住居の家賃が何日か遅れたこと、10年以上も前の返済実績など、いろいろな理由を上げながら、貸そうという姿勢がはじめから無いような対応でした。Kさんはあきらめきれず地元の相楽共産党区議に相談、民商を紹介してもらい早速入会、民商のアドバイスで北区の経営環境対策融資での申し込みを行いました。民商の役員さんから受け入れ金融機関も紹介してもらい、保証協会の書類審査もスムーズに進み無事融資が実現しました。当初は中古車でも仕方が無いかと思っていたKさんでしたが、「民商のおかげで新車が購入でき、これでタクシー人生を有終の美で飾れる。組合では金融公庫しか教えてくれず、借りられないとあきらめている仲間も大勢いるので、どんどん民商を知らせたい。」と話してくれました。

2年間の無申告の指摘も理由書提出で
初融資実現

十条支部のMさん（飲食業）は記帳と確定申告の要求で昨年民商に入会しました。開業して2年間は申告の仕方がわからず無申告でした。今年民商の計算会で、無事過去の分も合わせて申告書を作り、税務署も了承しました。ところが震災の影響で資金繰りに支障がおき、予定に無かった融資を受けることにしました。民商に相談し、北区の不況対策融資を申し込んだところ、保証協会から2年間の無申告を指摘され、融資は難しいだろうとの返事がありました。困ったMさんは直ぐに民商に相談、「民商で申告の仕方をはじめて教わったこと。融資のために申告をしたわけではないこと。」などを書いた理由書を作り保証協会に提出、見事200万円の満額融資が実現しました。Mさんは「民商のアドバイスで融資が実現しました。ありがとうございます」と喜びを語ってくれました。

保証協会と直接交渉 100万円から150万円に
融資を増額

豊島支部のHさん（飲食業）は運転資金として250万円を北区の不況対策融資で申し込みました。

しかし保証協会の審査の結果、直近の確定申告の決算内容がよくなかった事から、希望額には程遠い100万円しか融資できないと、金融機関から連絡がありました。Hさんは「満額は無理としても、100万円では予定していた宣伝や設備も出来ない…」と、再度民商に相談。アドバイスを受け直接保証協会に行き、経営の再建計画や商売の夢を訴え、50万円上乗せの150万円の融資が決まりました。

Hさんは「いったんは100万円で決まってしまったものを、あきらめずに訴えたことで増額できた。これで営業の改善策が打てる。背中を押してくれてありがとう」と喜んでいます。

JR赤羽駅 大問題

25日午後に日本共産党の笠井亮衆議院議員のヒアリングという形で、国土交通省との3回目の交渉を行いました。地域からの参加は6名、民商からは郡司常任理事・鈴木経対部副部長・鳥居事務局長の3名が臨みました。国土交通省側から「地元商店との共存共栄という観点で、JRの対応に問題点がある。法的な措置も場合によりありうる。」との回答を引き出しました。参加者での総括で、今後JRへの再交渉・商連への改めての働きかけ・議会活動などの運動の進め方が話されました。第2期工事の完成が7月に伸びたことを活かし、あらゆる努力でJRを追い詰めます。

2011.5.27付「しんぶん赤旗」

赤羽駅改修

JRは住民と対話を
笠井氏ら国交省に要請

JR東日本が行っている赤羽駅（東京都北区）構内の商業施設の改修工事が地元の住民への十分な説明がないまま進められていることについて日本共産党の笠井亮衆院議員、区議、住民は25日、国土交通省に利用者の安全対策や地元商店などへの配慮を求めました。

同工事は既存の商業施設や構内店舗などを「エキュート赤羽」（約2000平方㍍、約60店）に再整備するもので、3月には1期工事分が開業。夏には全体が完成する予定です。

要請には野々山研・北区議、北区民主商工会の鳥居峰夫事務局長ら地元住民6人が出席。①乗降・乗り換え客の移動シミュレーション、事故防止策②商業テナント誘致での地元中小商店・業者の利益を侵害しない配慮―について説明を求めました。

国交省担当者は「JRには地元の方との話し合いを徹底的にやるよう求めている」と述べ、この日の話し合いの内容をJR東日本に伝えると表明しました。

参加者は「乗降客が非常に多いため、お年寄りが怖くて乗り換えの流れに乗れず改札からホームに行けない」「実際に現場をみてほしい」「大型商業施設をつくるのにJRは地元説明会をやろうとしない」などと訴えました。認定鉄道事業者のJRが実施する工事を国交省が事後にしかチェックできない実態も浮き彫りになりました。

笠井議員は「鉄道は本来便利で安全でなければいけないはずが、別の事業でもうけをあげることが優先されるのでは本末転倒。行政の責任できちんとすべきだ」と求めました。

笠井議員と交渉団・国交省へ交渉

豊島のまちの9条の会
～3周年の集い～

6月5日(日)　午後1時30分～
豊島ふれあい館・第一ホール
講演:世界に広がる平和憲法
弁護士・笹本 潤さん
平和運動のネットワーク作りを進め9条世界会議の発起人
「王子の狐」DVD上映柳家小さん師匠
参加費無料
お気軽にご参加ください

お問い合わせは…
沼田紙工　☎ 3912-4739

震災から2か月…被災地の生活はどうなっているのか。今なにが必要か？

川和田レポート・現地からの報告

東商連事務局次長の川和田博さん(元北区民商事務局長・現東神支部所属)が、5月1日から宮城県連に支援に向かいました。震災から2か月がたった今現在の様子をレポート。被災地に連帯し、復興支援を考える機会にしたいと思います。

―5月11日(水)　曇り

今日で震災から2カ月目。永澤事務局長は各界連の国会要請行動に参加するため東京へ出張。とりあえず和歌山から届く予定の甘夏ミカン50箱の到着を待つ。石巻民商が16日に2回目の無料バザーを予定している。そのための物資を宣伝カーに積み込む。ミカンが届いたら、すぐ積み込んで届ける予定。しかし、午後になってもミカンは届かない。

伊藤県連会長から「2階の仙台民商事務局の人たちが2千部の商工新聞宣伝紙と何でも相談会チラシを紙封筒に詰める作業をしているので手伝ってほしい」と要請された。電話帳データを活用して郵送するとのこと。早速、2階へ上がり作業に加わった。仙台民商の3人の事務局員は皆若い。宮城の方言の話などしながら楽しく作業。商工新聞は避難所に居る読者にも届けていると聞いた。午後4時までかかり袋詰めは完了。結局、甘夏ミカンは届かなかった。

―5月12日(金)　晴れのち雨

地下鉄で通うのも今日で最後。11日間、地下鉄の台原駅から坂道を下って県連事務所に出勤。駅は高台なので眺望がいい。はるか遠方に雪を冠った山、その左手前にひときわ高くそびえ立つ白い巨大な観音像が見える。

11時まで甘夏ミカンの到着を待つが届かず、他の物資を宣伝カーに積み石巻民商へ届けに行く。石巻民商へ行くのは3度目。街中のガレキ撤去はかなりすすんでいるが、点灯しない信号機もまだ多い。昼食をとった中華レストランはいまだに電気も水道も復旧してない。店は1m30cm冠水した。レンタル発電機で自家発電、コップは紙コップ。メニューも数品しかなく低料金。店を開ける決断をした経営者に業者の心意気を感じる。

帰路、東松島の野蒜(のびる)地区を通過した。ここも大変な惨状だ。線路は飴のように曲がりズタズタ。道路沿いの川にはどこかの寺の大きな屋根が流されていた。

県連に戻ると、甘夏みかん50箱が届いていた。早速、気仙沼民商行きの宣伝カーと名取亘理民商行きの軽ワゴンに積み込む。この日、岡山県の西備民商から米190kg届く。

明日は竹原さんと交代して東京へ帰る。永澤事務局長、お世話になった橋本さん(元仙台民商事務局員)にお礼を言って握手、県連事務所を後にする。明日は朝出発し、津波で壊滅的被害をうけた岩手県陸前高田市の被災状況を見てから東京へ帰る予定。

―5月13日(金)　晴れ

早朝、ホテルを出発。海岸沿いの国道はいまだ寸断されおり、東北道自動車道経由で気仙沼から岩手県陸前高田市に入った。進行方向左が山、右が海。遠くの海岸から山裾まで見渡す限り全部ガレキで何もなくなっている。思わず車を停め写真を撮った。遠くに高い建物が見える場所に出た。あれが市の中心部なのか。カーナビは陸前高田民商事務所を目的地に設定しているが、指示通りに進むと橋が落ちていて通行止め。中心部をめざし進路を模索して走ってみたが結局行き着けず、あきらめて東京へ戻ることにする。石巻や気仙沼も悲惨だったが、それ以上にひどい印象。

この12日間、被災地を巡って思った。被災の状況は一人ひとり、一軒いっけん皆違う。当然、必要とされる支援内容も一人ひとりすべて違う。また、債務を棒引きして「ゼロからの出発」を保障することが必要だが、それだけでは不十分。漁民なら船や網、農民なら土地や農具、業者なら店や工場。これがないと生産や営業を再出発できない。この再生ができないなら広大な被災地から漁業も農業も自営業も全て失われてしまう。「真の復興とは何か」が今後、大きな課題として問われてくる。

今号で川和田さんの報告は終了になります。震災から3か月近く経つ今も、被災地での状況はさほど変わっていません。地元民商が行う無料バザーや、温かい食事をふるまう炊き出しには、早朝から長蛇の列が出来ています。

復興までの長いながい道のり、遠方にいる私たちも心寄せて歩んで行きたいと思います。

町の復興の要になるのは地元の漁民や農民、様々な技術や繋がりを持つ中小業者だと思います。そして自らも被災者でありながら住民自治を支える市町村職員たち。ここを励まし支援することで復興の手助けが出来ればとも考えています。

元気な民商ニュースでは、今後も現地の状況をお伝えして行きます。

被災地支援ご協力をお願いします

○アイロン　○ホットプレート　○自転車・バイク
○電気掃除機　○くるくるドライヤー
○ズボンプレッサー　○加湿器　○ノートパソコン
☆大工道具―中古でかまいません
・インパクトドライバー・さしがね(寸)
・電気カンナ・替刃式　カンナ・すみつぼ・丸ノコ・くい打ち機　・取付ノミ(3分8分　1寸)・のこ　ミリ(300)(330)
・釘袋・スケール(寸・cm)・万能機・押切丸ノコ・バール(小・中・大)・電気カンナ(小・大4寸巾)
・穴ほり角ノミ・電気みぞきり・レベル
募金共々ご支援お願いいたします！

前回に引き続き、浮間支部の平尾さんが脚立を届けて下さいました。ありがとうございます！

消費税増税反対!

各界連が駅頭宣伝

5月24日、雨上がりの王子駅前で北区各界連絡会による消費税増税反対宣伝行動を行いました。3団体14名で民商からは冨沢副会長・事務局員2名が参加し54名の方が署名に応じてくれました。「消費税を増税して東日本大震災の復興財源に充てるなんておかしい。」との訴えに若い世代の人たちが「消費税は当たり前と思ってたんですけれど、やっぱりおかしいですよね」と署名してくれました。

報道にもあるように、政府与党は6月中の増税案決定に向けコアメンバー会議を設置。消費税は欠陥税制であるという実態を広く知らせ、営業とくらしを守る大運動を起こして行きましょう。

・・・お知らせ・・・

◆会内なんでも相談会
会員向けのなんでも相談会です。毎週木曜日
午後2時～

◆虹の会
第1・第3・第5水曜
2部構成で開催
昼の部2時～
夜の部7時～
次回6月1日見学歓迎

◆記帳整理学習会
6月14日(火)
午後2時～4時迄
記帳相談何でも

◆第一経理　青経塾主催
仕事の確保と経営
トップの決定的役割
先輩経営者からのメッセージ
6月16日(木)18時30分～
6月24日(金)18時30分～
会場・㈱パワー5階会議室
北区田端4-1-8
参加費　2000円

◆国会要請行動
社会保障、救済・復興財源を名目にした消費税増税と納税者の権利を奪い、強権的税務行政を推進する「国税通則法」の会見は許せない！
6月15日(水)
昼休み集会…
12時15分～13時
その後、議員要請行動を行います。大勢で参加しましょう。

◆第67回定期総会
6月19日(日)
岸町ふれあい館
10時開始